

第4章 化学物質管理目標決定及び達成状況の届出について

【届出対象者】

第一種管理化学物質の排出量・移動量・取扱量の届出対象者のうち、常時使用される従業員数が50人以上の事業所を府内に持つ事業者

(1) 化学物質管理目標決定及び達成状況の届出書の作成方法

この届出は、対象とする化学物質を定めて、排出量の削減などの自主的な目標を策定し、化学物質による環境リスクの低減を進める内容を届け出るものです。

初年度は有害性が高い、あるいは取扱量が多いなど環境リスクが高い管理化学物質を選定して管理目標を定め、その目標を達成するための具体的な方策に関する計画を作成します。次年度以降は、目標の達成状況及び目標を達成するために実施した対策の内容を届出してください。

1) 届出先について

大阪府知事又は権限移譲した市町村の長に提出してください。（記入例p4-6参照）

2) 届出様式について

以下のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/shidou/kanri.html>

○注意事項

1 初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者の方へ

化学物質管理目標や目標を達成するための具体的な方策等を届出してください。

⇒ p4-6～p4-8の書類を提出してください。

(p4-7の点線で囲まれた部分は記載不要です。ただし、既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は、p4-7の点線で囲まれた部分も記載してください。)

2 既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者の方へ

化学物質管理目標を達成するための対策の進捗状況や達成状況等を届出してください。ただし、目標達成年度における達成状況等を届出する年度には、達成状況等の届出に加えて新たな目標を策定して届出してください。

⇒ 前年度に提出した書類に追記し、p4-9～p4-11の書類を提出してください。

(なお、書面届出において、計画の内容を変更していない場合はp4-11の別紙の届出は不要です。)

目標達成の最終年度（目標（達成）年度）の達成状況を届出される事業者様へ

既に管理目標の届出をしている事業所で、今回の届出が目標達成の最終年度（目標年度）の達成状況を届出される事業者は、次の目標を決定し、併せて届出してください。

（例）目標年度：2019年度 届出年度：2020年度 の場合

→ ①2019年度の目標達成状況の届出
②2020年度を計画初年度とする管理目標決定の届出 } 2種類の届出が必要です

3) 化学物質管理目標決定及び達成状況の届出の記載事項の説明

説明1 管理化学物質の種類

貴事業所で取り扱っている管理化学物質のうち、管理の改善を進めて環境リスクの低減を図るべき管理化学物質を選定して記入してください。また、この届出書は1物質ごとに提出してください。

なお、揮発性有機化合物（VOC）（府条例施行規則別表第18の10第24号）の年間取扱量が1トン以上の場合、VOC又はVOCに該当する個別の物質（例えば、トルエン等）を優先的に選定してください。

管理化学物質の選定にあたっては、指針第4の2(1)（指針の解説を含む）に示す貴事業所で扱う管理化学物質の有害性に係る情報、ばく露性に係る情報をもとに、指針第4の2(2)（指針の解説を含む）に示すような管理化学物質のリスク評価を行ってください。

説明2 管理の改善の方法

「管理化学物質の種類」の欄に記入した管理化学物質に対して、どういった方法で管理の改善を進めるか、該当する欄に「○」を入力してください。

従前から化学物質の適正管理を積極的に実施されており、これ以上の改善が現時点では難しい場合は、以下の例に示すような方法で行ってください。

- （例）
- ・排出原単位（例、「化学物質Aの大気への排出量÷製品の製造量」、あるいは「化学物質Aの大気への排出量÷化学物質Aの取扱量」という比率）を減らす。
 - ・地域住民とのリスクコミュニケーションを推進し、住民に貴事業所での化学物質管理について理解してもらおう。
 - ・マネジメントシステムの改善により、化学物質の取扱時における無理、ムラ、無駄の一層の排除を行う。
 - ・現状維持。（ただし、現状維持の状況になるまでの今までの改善の過程、どのようにして現状維持を担保していくかの説明が必要です。）

「管理の改善の方法」を排出量の削減とした場合には、「指標とする項目」「指標とする項目に係る目標」についても排出量（大気、公共用水域、土壌、埋立）に関連する項目から選択し項目間の内容について整合がとれるようにしてください。

説明3 指標とする項目、指標とする項目に係る目標、改善率

「指標とする項目」については、「管理の改善の方法」を進めていく段階で、その改善の程度を把握・検証等するための指標となるものを選んでください。

「指標とする項目」の例をp4-5に示しています。

「指標とする項目に係る目標」については、当該化学物質の管理の改善計画で達成しようとする目標値を記入してください。

(目標の例)・VOCの大気への年間排出量を基準年度から、〇〇〇k g/年削減する

- ・メタノールから純水への転換率（純水量/メタノール量）を〇〇%にする。
- ・設備の安全化を施す箇所を全〇箇所設定し改善する。
- ・環境報告書の発行回数を3年に1回から毎年とする。

「改善率」については、「管理の改善の方法」として排出量・移動量・取扱量の削減を選定している場合に、基準年度に対する目標達成年度における改善率を記入してください。数値化しにくい指標とする項目の場合は、改善率の記入は不要です。

説明4 目標達成年度

本届出は、化学物質の環境リスクを低減する取組みを進めることを目的として、事業所ごとに化学物質の管理の改善計画・目標を立て、毎年その進捗状況について届出を行うものです。

目標を達成するために取組む期間（1サイクル）は、概ね5年程度の期間を想定しています。届出の開始時期が事業所で異なるため、以下のような期間を設定してください。（2020年度に初回の届出を行う場合、可能であれば2019年度を基準年度とし、目標達成年度を2024年度としてください。）

なお、本届出は各事業者で自主的に環境リスクの低減を進めていただくことを基本としていますので、工場の建替えや拡充計画等の長期計画をお持ちの場合や、既にPDCAサイクルを実行している場合などは、目標達成年度が上記以外になることを妨げるものではありません。

また、目標を達成するため、PDCAを繰り返して行い、目標の達成が危ぶまれる場合は、必要に応じて追加対策を実施するなどして、目標の達成に努めてください。

初回の届出が2020年度の場合の目標年度設定例

2019	2020	2021	2022	2023	2024
排出量等 基準年度	計画 初年度		中間 目標年度		目標 達成年度

説明5 目標決定に当たっての考え方

説明1と密接に関係するところですので説明1も参照してください。

- (1) リスク評価の結果
- (2) 事業者独自の判断基準にそって対象物質を決定した場合の判断基準
- (3) 技術面、費用面を含めた各種削減対策の比較検討結果

(1)～(3)の結果等をもとに、最終的な目標決定をした際の考え方を記入してください。記入欄が足りない場合は別添にして記入してください。(様式は自由です)

説明6 化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容、化学物質管理目標の達成状況、化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果

これらの欄は毎年度内容が変わりますので新たな記述が必要です。
届出前年度の進捗状況に基づいて記入してください。

「化学物質管理目標の達成状況」は経過がわかるよう、届出前年度の指標とする項目の実績値(削減量等)と改善率を、前回届出内容に追記する形で記入してください。

(例)

- ・2018年度(基準年度)実績でVOCの大気への排出量は10,000kg。
- ・2019年度実績でVOCの大気への排出量は9,400kg。基準年度から600kg削減、改善率6%。

「化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果」は、前年度の実績について自ら検証した結果を記入してください。検証にあたっては、事業所で作成した化学物質管理計画書であらかじめ定められた体制と手順にしたがって実施してください。なお、第三者評価を行った場合にあっては、その結果も加味してください。

(例)

- ・〇〇年度の目標達成に向け順調に進んでいる。
- ・目標を順調に達成できた。
- ・〇〇年度の目標達成に向け概ね順調に進んでいるが、一部に〇〇といった課題が残されている。
- ・〇〇年度の目標達成に困難な課題(〇〇)があり、今後具体的方策の検討を予定している。
- ・目標達成に向けての取組みを行ったことで、使用していない溶剤のフタが閉まっていることを作業員が確認する等、意識の向上が見られた。
- ・生産量の増加に伴い、使用量が増加したが、生産量1トンあたりの使用量は減少しており、作業効率は改善している。
- ・塗料を調製する際、必要量だけ作成し、余剰分が少なくなるようにした。

説明7 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画(別紙)

この別紙は計画策定時に作成するものですので、2年目以降の実績報告時には計画の内容に変更がない限りは、変更しないでください。なお、計画を変更する場合は、

表書きの「化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項」に変更の内容とその理由を記載してください。

別紙の「具体的方策」には、当該年度にて実施する予定の対策等を具体的に記載してください。「指標とする項目」には表書きで設定した「指標とする項目」について、基準年度の値（実績値）及び予定する対策等を実施した際の計画初年度、中間目標年度及び目標年度の計画値を記載してください。

<参考> 指標とする項目の例

1: 上記管理化学物質の大気への排出量の削減量
2: 上記管理化学物質の公共用水域への排出量の削減量
3: 上記管理化学物質の当該事業所の土壌への排出量の削減量
4: 上記管理化学物質の当該事業所における埋立処分量の削減量
5: 上記管理化学物質の下水道への移動量の削減量
6: 上記管理化学物質の廃棄物としての移動量の削減量
7: 上記管理化学物質の製造量の削減量
8: 上記管理化学物質の使用量の削減量
9: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの大気への排出量の削減量
10: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの公共用水域への排出量の削減量
11: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所の土壌への排出量の削減量
12: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所における埋立処分量の削減量
13: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの下水道への移動量の削減量
14: 上記管理化学物質の単位使用量当たりの廃棄物としての移動量の削減量
15: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の使用量（原単位）の削減量
16: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の大気への排出量（原単位）の削減量
17: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の公共用水域への排出量（原単位）の削減量
18: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の土壌への排出量（原単位）の削減量
19: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の埋立処分量（原単位）の削減量
20: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の下水道への移動量（原単位）の削減量
21: 製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の廃棄物としての移動量（原単位）の削減量
22: 上記管理化学物質の有害性の低い代替物質への転換率
23: 設備の安全化対策の実施箇所
24: その他（項目を記入下さい。）

(2)化学物質管理目標決定及び達成状況の届出書の記入例

①初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者

様式第23号の15(第50条の12関係)

化学物質管理目標決定及び達成状況届出書	
〇〇年〇月〇日	
〇〇〇〇 様	
届出先の行政の長を記入 ① 事業所が所在する市町村の長 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、河南町、千早赤阪村の事業所 ② 泉大津市長 泉大津市、忠岡町*の事業所 (※PRTR法の届出先は忠岡町長) ③ 大阪府知事 上記以外の市町の事業所	届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を記入 ※押印不要 住所 〇〇市〇〇町〇-〇 氏名 大阪産業株式会社 代表取締役社長 大阪 太郎 代理人 大阪第一工場 工場長 〇〇 〇〇 代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 条の25第2項の規定により、次のとおり届け出ます。	
事業所の名称	大阪第一工場 届出日における事業所の名称、所在地を記入
事業所の所在地	〇〇市△△町〇-〇
管理化学物質の種類	条例24:VOC(揮発性有機化合物) 取り扱っている管理化学物質の中から環境リスクを考慮して物質を選定 ※詳細は説明1(p4-2)参照
管理の改善の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の削減 <input type="checkbox"/> 移動量の削減 <input type="checkbox"/> 取扱量の削減 <input type="checkbox"/> 有害性の低い物質への代替 <input type="checkbox"/> 設備の安全化の対策 <input type="checkbox"/> マネジメントシステムの改善 <input type="checkbox"/> リスクコミュニケーションの推進 <input type="checkbox"/> その他の方法 該当する欄に「〇」を記入 ※詳細は説明2(p4-2)参照 実線での囲みの部分を計画初年度(目標決定時)に記入 p4-5記載の項目から選択 ※選択項目に該当するものがない場合は、24:その他とし、その内容を4段目に記入
化学物質管理目標	1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減量 指標とする項目 指標とする項目に係る目標 削減量が定量化できる場合には、基準年度からの削減量(削減割合)を記入 ※詳細は説明3(p4-3)参照 1000 kg 単位を記入 改善率 14.3 %の改善 (2019 年度比) 目標達成年度 2024年度 目標決定に当たっての考え方 リスク評価の結果、使用量が最も多いVOCの環境リスクが高いことから、VOCを管理目標の対象物質として設定した。指標とする項目に関する削減量については、技術面・費用対効果を検討したうえで実施する対策を決定し、その削減見込量とした。 ※詳細は説明5(p4-4)参照

化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画	別紙のとおり	
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容	<p>化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など) ※届出前年度の実績を前回届出内容に追記する形で記入 ※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能</p>	
化学物質管理目標の達成状況	<p>届出前年度末の達成状況を前回届出内容に追記する形で記入 ※詳細は説明6 (p4-4) 参照 ※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能</p>	
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果	<p>進捗状況に対する検証(見解)を記入 ※詳細は説明6 (p4-4) 参照 ※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能</p>	
化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項	<p>変更の内容とその理由を記入 ※変更した場合は、別紙の「具体的方策」にも変更した事項を記載</p>	
本届出について生産技術上・営業上の秘密に係る情報の有無	<p><input type="checkbox"/>: 無 ← 該当する欄に「○」を記入 <input type="checkbox"/>: 有(秘密とする内容を記載した書類を添付してください。)</p>	
担当者(問い合わせ先)	部署名	○○部○○課
	(ふりがな)	○○○○ ○○○
	氏名	○○ ○○
	電話番号	○○-○○○○-○○○○
	電子メールアドレス	○○○○@○○.○○○
※受付欄		

備考 ※印の欄には、記載しないこと。

○別紙の記入例 (初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者)

別紙 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画

年 度	2019 年度 (基準年度)	2020 年度 (計画初年度)	年度 (届出の前年度)	2022 年度 (中間目標年度)	2024 年度 (目標年度)
	<p>計画の基準年度を記入</p> <p>※選定した物質を、既に削減対象として計画的に管理してきた場合、その計画の初年度を基準年度としても構いません。</p>	<p>計画を初めて提出する年度を記入</p>		<p>計画の中間目標年度を記入</p>	<p>計画の目標年度を記入 おおむね5年程度の計画としてください。</p>
	<p>具体的方策は事業所の実態を踏まえ、最も費用対効果の高い対策の組み合わせを決定して記入してください。(以下、記載例)</p> <p>○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備 ○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減 ○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制 ○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制 ○モニタリングによる監視(排ガス、排水、敷地境界濃度等)の強化 ○リスクコミュニケーションの実施(住民説明会の実施) ○その他の改善対策(具体的に記入)</p>				
具体的方策		<p>○各洗浄工程の現状を把握し、洗浄の必要性、清浄度の基準、洗浄剤交換時期等を点検する。 ○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○運転・操作手順書を作成し、作業員へ手順を周知する。</p>	<p>「届出の前年度」は基準年度が計画初年度よりも数年前であり、計画の進捗を把握するために、最新の実績値を記入することが望ましい場合には、記入してください。</p>	<p>○各洗浄工程の洗浄の必要性、清浄度の基準、洗浄剤交換時期等を点検する。 ○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○運転・操作手順書の見直しを必要に応じて行う。</p>	<p>○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○洗浄装置の改造(フリーボード高さ、冷却水温度等)を検討・実施する。</p>
	<p>計画の「指標とする項目」(この届出書の表書きに記入したもの)を記入</p>				
	<p>計画の基準年度における「指標とする項目」の実績値を記入</p>	<p>計画策定時における、2020年度(届出初年度)の計画値を記入</p>		<p>計画策定時における2022年度(中間目標年度)の計画値を記入</p>	<p>計画策定時における2024年度(目標年度)の計画値を記入</p>
指標とする項目	<p>【実績値】 大気への排出量 7,000kg/年</p>	<p>【計画値】 大気への排出量 6,300kg/年 基準年度から700kg削減</p>	-	<p>【計画値】 大気への排出量 6,200kg/年 基準年度から800kg削減</p>	<p>【目標値】 大気への排出量 6,000kg/年 基準年度から1,000kg削減</p>
改善率	—	11.0 %	%	11.4 %	14.3 %

備考 1 改善率は、指標とする項目を数値化できる場合に記入する。

2 改善率は、次に示す例により計算して記入する。

例 指標とする項目が「化学物質の排出量」の場合 $[(\text{基準年度の排出量} - \text{当該年度の排出量}) / \text{基準年度の排出量}] \times 100\%$

②既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者

様式第23号の15(第50条の12関係)

化学物質管理目標決定及び達成状況届出書

〇〇年〇月〇日

〇〇〇〇 様

届出先の行政の長を記入

- ①事業所が所在する市町村の長
大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、河南町、千早赤阪村の事業所
- ②泉大津市長：泉大津市、忠岡町の事業所
- ③大阪府知事：上記以外の市町の事業所

届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を記入
※押印不要

住所 〇〇市〇〇町〇-〇

氏名 大阪産業株式会社

代表取締役社長 大阪 太郎
代理人 大阪第一工場 工場長 〇〇 〇〇

代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪府生活環境の保全等に関する条例第81条の25第2項の規定により、次のとおり届けます。

事業所の名称	大阪第一工場	届出日における事業所の名称、所在地を記入
事業所の所在地	〇〇市△△町〇-〇	
管理化学物質の種類	条例24:VOC(揮発性有機化合物)	取り扱っている管理化学物質の中から環境リスクを考慮して物質を選定 ※詳細は説明1(p4-2)参照
管理の改善の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の削減 <input type="checkbox"/> 移動量の削減 <input type="checkbox"/> 取扱量の削減 <input type="checkbox"/> 有害性の低い物質への代替 <input type="checkbox"/> 設備の安全化の対策 <input type="checkbox"/> マネジメントシステムの改善 <input type="checkbox"/> リスクコミュニケーションの推進 <input type="checkbox"/> その他の方法	該当する欄に「〇」を記入 ※詳細は説明2(p4-2)参照 実線での囲みの部分を計画初年度(目標決定時)に記入 p4-5記載の項目から選択 ※選択項目に該当するものがない場合は、24その他とし、その内容を4段目に記入
化学物質管理目標	指標とする項目	1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減量
	指標とする項目に係る目標	上記管理化学物質の大気への排出量を基準年度より削減 削減量が定量化できる場合には、基準年度からの削減量(削減割合)を記入 ※詳細は説明3(p4-3)参照
	改善率	14.3 %の改善 (2018年度比)
	目標達成年度	2023年度
目標決定に当たっての考え方	リスク評価の結果、使用量が最も多いVOCの環境リスクが高いことから、VOCを管理目標の対象物質として設定した。指標とする項目に関する削減量については、技術面・費用対効果を検討したうえで実施する対策を決定し、その削減見込量とした。	

化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画	<p style="text-align: center;"><u>別紙のとおり</u></p>											
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容	<p>・塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を実施した。さらに、塗装・洗浄時の手順を手順書に取りまとめ、これを使用して研修を実施し、作業者の技術の向上を図った。(2019年度)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など) 目標を達成するために取り組む期間(1サイクル間)にあつては、届出前年度の実績を前回届出内容に追記する形で記入 </div>											
化学物質管理目標の達成状況	<p>・2018年度実績でVOCの大気への排出量は7,000kg/年。 ・2019年度実績でVOCの大気への排出量は6,800kg/年。基準年度から200kg削減、改善率2.9%。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 1サイクル間にあつては、届出前年度末の達成状況を前回届出内容に追記する形で記入 ※詳細は説明6(p4-4)参照 </div>											
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果	<p>塗装設備の合理化目標を達成することができた。また、作業者を含む従業員に対して化学物質の管理改善に向けた研修の開催、生産量当たりの塗料・溶剤の使用量を周知するポスターを掲示板への貼付などの取組を行ったことで、会社全体の目標達成志向の向上につながったと考えられる。(2019年度)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 進捗状況に対する検証(見解)を記入 ※詳細は説明6(p4-4)参照 </div>											
化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 上欄の目標達成のために実施した対策の検証の結果に基づき、具体的方策(別紙)に内容を変更した場合は、変更した事項を記載 </div>											
本届出について生産技術上・営業上の秘密に係る情報の有無	<div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> : 無 <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">該当する欄に「〇」を記入</div> </div> <input type="checkbox"/> : 有(秘密とする内容を記載した書類を添付してください。) </div>											
担当者(問い合わせ先)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">部署名</td> <td>〇〇部〇〇課</td> <td rowspan="5" style="text-align: right; vertical-align: middle;">p5-1参照</td> </tr> <tr> <td>(ふりがな)</td> <td>〇〇〇〇 〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>電子メールアドレス</td> <td>〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇</td> </tr> </table>	部署名	〇〇部〇〇課	p5-1参照	(ふりがな)	〇〇〇〇 〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇	電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇
部署名	〇〇部〇〇課	p5-1参照										
(ふりがな)	〇〇〇〇 〇〇〇											
氏名	〇〇 〇〇											
電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇											
電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇											
※受付欄												

備考 ※印の欄には、記載しないこと。

○別紙の記入例（既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者）
 ※計画の内容を変更していない場合、別紙は初回届出時のまま、特に追記等は不要です。

別紙 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画

年 度	2018 年度 (基準年度)	2019 年度 (計画初年度)	年度 (届出の前年度)	2021 年度 (中間目標年度)	2023 年度 (目標年度)
	計画の基準年度を記入	計画を初めて提出する年度を記入		計画の中間目標年度を記入	計画の目標年度を記入
	※選定した物質を、既に削減対象として計画的に管理してきた場合、その計画の初年度を基準年度としても構いません。	具体的方策は事業所の実態を踏まえ、最も費用対効果の高い対策の組み合わせを決定して記入してください。(以下、記載例) ○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備 ○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減 ○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制 ○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制 ○モニタリングによる監視(排ガス、排水、敷地境界濃度等)の強化 ○リスクコミュニケーションの実施(住民説明会の実施) ○その他の改善対策(具体的に記入)			
具体的方策		○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を検討・実施する。 ○塗装・洗浄時の手順を手順書にまとめ、手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。		○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備(触媒燃焼装置)の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。	○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備(触媒燃焼装置)の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。
指標とする項目	【実績値】 大気への排出量 7,000kg/年	【計画値】 大気への排出量 6,800kg/年 基準年度から 200kg削減	-	【中間目標値】 大気への排出量 6,400kg/年 基準年度から 600kg削減	【目標値】 大気への排出量 6,000kg/年 基準年度から 1,000kg削減
改善率	—	2.9 %	%	8.6 %	14.3 %

備考 1 改善率は、指標とする項目を数値化できる場合に記入する。

2 改善率は、次に示す例により計算して記入する。

例 指標とする項目が「化学物質の排出量」の場合 $[(\text{基準年度の排出量} - \text{当該年度の排出量}) / \text{基準年度の排出量}] \times 100\%$